

マテリアリティ

Anti-Corruption 腐敗防止の徹底



目標	2021年度以降の進捗	2022年度の取組み/今後の施策案
■ 腐敗防止に関する方針および手順に関するコミュニケーションの促進	■ 世界40カ国の全従業員を対象にしたKWEグループ統一コンプライアンス教育を2022年4月より開始。以降4半期ごとに実施予定	■ コンプライアンスへの全従業員の理解度底上げを目指し、KWEグループ統一コンプライアンス教育(倫理と行動規範: Ethics and Code of Conduct)を実施
■ 不正行為に関する業務上のリスクの把握／確認された不正行為事例の把握と適切な措置	■ コンプライアンス教育のプラットフォームと内部通報ホットラインのリンクに向けた準備を進行(2022年6月現在)	■ KWEグループ統一の内部通報制度の整備

Concept/Policy

KWEグループコンプライアンス基本方針

KWEグループは、高い倫理観、責任をもって公正な企業行動を実践し、社会から信頼される企業グループを目指します。

1. KWEグループの役員および従業員は、コンプライアンスを遵守し、誠実かつ良識ある行動に努めます。
2. KWEグループは、経営判断および事業運営に当たりコンプライアンスを最優先します。
3. KWEグループは、コンプライアンス違反に対しては責任ある姿勢で臨み、原因を究明し再発を防止します。

コンプライアンス体制

KWEグループリスク管理体制(→P34ご参照)に準じた以下のコンプライアンス体制を構築しています。

- リスク管理統括責任者は、KWEグループにおけるコンプライアンス違反の未然防止ならびにコンプライアンス違反が発生した場合の対応の指揮を統括
- 本部長は、所管する関係会社のコンプライアンス体制を掌握し、本部におけるコンプライアンス違反の未然防止ならびにコンプライアンス違反が発生した場合の対応を指揮
- 本部長および海外関係会社社長は、以下のいずれかに該当する場合、リスク管理統括責任者に状況を報告し、その指示に従う。
 - (1) 社業に関して重大なコンプライアンス違反またはその疑いのある事象を認知した場合
 - (2) 決裁すべき案件につき、コンプライアンス面で是非の判定ができない場合

- 海外関係会社社長は、本部長の指導に基づき、当該関係社において、「KWE Code of Conduct」および「KWEグループコンプライアンス基本方針」に則った適正な企業行動の推進を図る。

この体制のもと、昨今の各国規制法の域外適用の拡大や制裁金の高額化、サプライチェーン全体におけるコンプライアンス意識の高まりなど複雑・多様化、グローバル化する法的リスクに鑑み、弁護士資格を持つジェネラル・カウンセル職(以下GC)を2021年4月に新設しました。これにより、グループ全体としてのコンプライアンス／リスク対応とガバナンスのさらなる強化を進めています。

強固なコンプライアンス体制とガバナンスを追求します

私たちはGCと連携してリスクを特定・管理し、様々な教育プログラムを実施しています。従業員はコンプライアンス違反に対する最初の防衛線であるため、腐敗防止への取組みにおいてはまず従業員への教育が重要です。これと内部通報制度の強化を並行して進めることで、より実効性の高いコンプライアンス強化を図ります。サステナビリティを追求することは企業と

して確固たるガバナンスを追求することでもあり、企業の持続的成長には強力なコンプライアンスが欠かせません。これらを実現するため引き続き尽力していきます。

上席執行役員
コーポレート・プランニング&
アドミニストレーション部長
家鋪 義和



VOICE

